

科 目 名		学年	
経営工学 I A: Management Engineering IA		4B	
教 員 名	挾間 雅義 HASAMA Masayoshi		
単位	授業時間	科目区分	
1	100分×15回	必修	
授業概要		学修単位	
4年以上になると応用的な内容の学習と共に、これまで習得した“経営”と“情報”の知識を融合・発展させる必要がある。そのためには客観的に分析する。数理的な知識が不可欠である。この経営工学 I A 後期の経営工学 I B ではオペレーションズ・リサーチを扱い、“経営”および“情報”を解決させる効率化、最適化の手法を学ぶことを目的とする。		○	
到達目標		評価方法	
(1)線形計画法、輸送問題、日程計画法などの基礎的な手法の理解をする (2)演習問題を解くことで、より理解を深め、現実のさまざまな問題に対して適用ができる		①中間試験(30%)、②期末試験(50%)③レポート(20%)によって評価する。	
学習・教育目標	(E)②	JABEE基準1(1)	
		(d)-(2)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	経営工学の概要	経営工学の位置づけ、オペレーションズリサーチの紹介
	第2	線形計画法①	グラフ解法と線形計画法立案
	第3	線形計画法②	シンプレックス法(基礎)と(応用)
	第4	線形計画法③	最小化問題、双対問題
	第5	輸送問題①	輸送コスト最小化問題(基礎)
	第6	輸送問題②	輸送コスト最小化問題(応用)
	第7	中間まとめ	中間試験を実施する
	第8	AHP	階層型意思決定法
	第9	生産スケジューリング①	スケジューリングの役割、スケジューリング問題
	第10	生産スケジューリング②	ジョブショップモデル
	第11	生産スケジューリング③	日程計画法
	第12	基礎数学①	数理的手法 I (線形代数)
	第13	基礎数学②	数理的手法 II (微積分)
	第14	練習問題	経営工学 I A のまとめ、演習問題
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	
自学自習の内容	課題プリントを5回出題する。(第2回、第3回、第5回、第11回、第13回)		
関連科目	経営統計学Ⅱ、経営管理論、基礎経営学、解析、代数		
教科書	毎回、プリント資料(板書に対応)を配布する		
参考書	オペレーションズ・リサーチ システムマネジメントの科学(オーム社)		
授業評価・理解度	試験前に理解度チェック、最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員			
備考	参考書等は一冊ではないため適宜紹介する。		